

尼崎郷土史研究会 平成24年度 第3回歴史講座

尼崎の徳本名号石について

—尼崎・西摂地域と徳本上人の関わり—

1. とき 平成25年1月17日(木) 午後1時30分～3時
2. ところ 小田公民館 2F 学習室 2・3
3. テーマ 尼崎の徳本名号石について

—尼崎・西摂地域と徳本上人との関わり—

講座要旨 徳本は江戸後期の念仏行者で、後に浄土宗の高僧となりました。各地に赴き、念仏の教えと念仏行の実践を勧め、大名から庶民まで幅広い階層の人々から熱烈な尊崇を受けました。その足跡は広範囲に及び、「徳本文字とも蔦文字ともいわれる独特な南無阿弥陀仏の六字名号」を刻した六字名号碑などが残されています。

尼崎にも南武庫之荘6丁目中の池公園に徳本六字名号石があり、地元に残る古文書からはこの名号石が建立された経緯がわかります。尼崎の徳本名号石について解説するとともに、西摂地域と徳本行者の関わりや信仰の広がりについて紹介します。

4. 講師 尼崎市教育委員会 歴博・文化財担当

(学芸員) 伏谷 優子 氏

5. 申込 平成25年1月7日(月)より尼崎市立文化財収蔵庫へTELで

TEL06-6489-9801

6. 定員 60人(会場の都合も有り、定員になり次第締め切らせていただきます)

7. 費用 300円(資料代) 郷土史研究会 会員は無料